



伝統素材「漆」の魅力を学生の力でリデザイン 道の駅むなかた「higoro」で新商品の胎動

道の駅むなかた「higoro」では、8月19日（火）～30日（土）、市内事業者「明光メディカル」と九州産業大学が産学連携で開発する日本の伝統素材「漆」の未活用木材を用いた漆染め商品を販売します。

産学連携のきっかけは昨年同社がノミネートされた「福岡デザインアワード」での評価。「デザイン性に磨きが必要」との指摘を受け、より質の高い製品づくりを目指し、デザイン教育に強みを持つ九州産業大学と連携します。

現在、日本で流通する国産漆はわずか6%。その多くは、宗像大社をはじめとする国宝・重要文化財の修復に使用されていますが、漆の生産量減少や職人の高齢化、漆掻き技術の継承など、多くの課題を抱えています。

「宗像8人の匠」コーナーなど匠の技が光る工芸品や雑貨を取り扱う「higoro」では漆の新たな可能性を広げる試みに共感し、漆染め商品の販売を通し、課題解決の一助につながる試みです。

5月15日からはじまるデザイン開発会議から取材いただくことで、産学連携の商品販売にいたるストーリーを深く掘り下げて頂けます。

【「漆染めのデザインを考える」プロジェクト スケジュール概要】

① 第2回 学生とのデザイン開発会議

日時：5月15日（木）15:40～

場所：九州産業大学15号館 4階 中会議室2

内容：明光メディカルと芸術学部の学生3人でデザインイメージのブラッシュアップや素材の選定をおこなう。

② 製品お披露目会…7月末を予定

③ 商品販売

日程：8月19日（火）～8月30日（土）※19日（火）は九産大の学生が店頭販売予定

場所：花き園芸と工芸雑貨のお店「higoro」（道の駅むなかた内）

【有限会社明光メディカル】

本社：宗像市自由ヶ丘南 2-1-8

代表者：三木 將明

主な業務：解剖学や法医学の現場への医療用機器の販売



《黄漆染 漆染めスカーフ》

【問い合わせ先】 ※ご取材いただける場合は、事前にご連絡ください
宗像市産業政策課 担当：藤江 TEL：0940-36-0037